

2026 年 4 月 16 日

報道関係者 各位

連合および労働組合のイメージ調査2026

日本労働組合総連合会(略称:連合、所在地:東京都千代田区、会長:芳野 友子)は、このたび連合・労働組合の認知度や連合に対するイメージなどを把握することを目的に、「連合および労働組合のイメージ調査2026」をインターネットリサーチにより2026年1月9日～1月13日の5日間で実施、全国の15歳以上の男女1,000名の有効サンプルを集計しました(調査協力機関:ネットエイジア株式会社)。

【調査結果のポイント】

《労働組合について》

- ◆ 「労働組合を知っている」81.0%、10代では57.0%にとどまる(p.6)
- ◆ 勤務先での労働組合加入状況 「加入している」20.9%、「加入していない」56.8%、「わからない」22.3%(p.7)

《連合について》

- ◆ 連合の認知率は46.9%、30代では41.0%にとどまる(p.8)
- ◆ 連合について持っているイメージ
1位「影響力のある」2位「保守的な」3位「堅実な」(p.11)
- ◆ 「連合は自身にとって身近な存在だと思う」連合認知者の30.7%、20代では40.0%となり、世代別で1位(p.12)
- ◆ 「労働組合に加入したい」組合未加入者の27.5%(p.19)

【調査に関するコメント】

「連合が働く人にとって身近で頼れる存在になれるよう、認知を広げる取り組みを」

日本労働組合総連合会 総合運動推進局長 春田雄一

今回の調査は、継続して実施している「連合および労働組合のイメージ調査」の最新の状況を把握するために実施したものです。労働組合の認知率は81.0%と前回調査から大きな変化は見られませんでした。若い世代ほど認知が低い傾向が改めて確認されました。

連合の認知率は46.9%と5割を下回り、特に30代では約4割にとどまるなど、働く世代への認知の広がりには依然として課題があります。一方で、連合のイメージでは「影響力のある」「保守的な」「堅実な」といった評価が上位に挙げられています。また、「連合は自身にとって身近な存在だと思う」と回答した割合は連合認知者の3割となりましたが、世代別では20代が最も高く40.0%となりました。連合のイメージアップには若年層の認知度を高める取り組みが改めて必要だと考えられます。

また、仕事や職場に不満を感じている人は6割にのぼる一方、その解消のために労働組合に相談したと回答した人は1.8%にとどまり、多くの人(67.8%)が「何も行動していない」状況も明らかとなりました。一方で、現在労働組合に加入していない人の中で「加入したい」と回答した人は27.5%となっています。働く人の悩みや不安が多い中で、労働組合の役割に対する関心が一定程度存在していることもうかがえます。連合としては、働く人にとってより身近で頼れる『必ずそばにいる存在』となるよう、認知度の向上とともに、取り組みをわかりやすく発信しながら活動を進めてまいります。

◆仕事に対する不満について(p.3- p.5)

- ・有職者の59.2%が「仕事・職場に不満がある」と回答、不満の内容 1位「賃金が低い」
- ・仕事・職場の不満解消のための行動 1位「人事・上司に相談」、「労働組合に相談」はわずか1.8%
不満を感じている人の67.8%が「何もしていない」
- ・仕事・職場の不満解消のために行動していない理由
1位「不満の解消は諦めている」2位「解消までの労力を割きたくない」3位「解消する手段を知らない」

◆労働組合について(p.6- p.7)

- ・「労働組合を知っている」81.0%、10代では57.0%にとどまる
- ・勤務先の労働組合の有無 「労働組合がある」29.4%、「労働組合はない」49.7%、「わからない」20.9%
- ・勤務先での労働組合加入状況 「加入している」20.9%、「加入していない」56.8%、「わからない」22.3%

◆連合について(p.8- p.19)

- ・連合の認知率は46.9%、30代では41.0%にとどまる
- ・連合を何で知った？ 1位「TV」2位「新聞」
10代では「YouTube」「X」「Instagram」、20代では「X」が上位に
- ・連合の取り組みとして知っているもの 1位「春闘の実施」
20代では「労働組合づくり支援・労働相談の実施」が1位
- ・連合について持っているイメージ 1位「影響力のある」2位「保守的な」3位「堅実な」
- ・「連合は自身にとって身近な存在だと思う」 連合認知者の30.7%、20代では40.0%
- ・連合が身近な存在だと思う理由
1位「社会の役に立っていると思う」2位「困ったときに頼れると思う」3位「役立つ情報をくれる」
- ・連合が身近な存在だと思わない理由 1位「身近に関わっている人がいない」
2位「どのような人が関わっているのか見えない」3位「自分・家族の生活とは関係ないと思う」
- ・「連合について好感を持てる」 連合認知者の52.2%、10代では60.9%
- ・連合に好感を持てる理由 1位「働く人の味方だから」2位「働く人の処遇改善に取り組んでいるから」
- ・連合に好感を持たない理由 1位「政治の活動ばかり目立つから」
2位「身近に関わっている人がいないから」「情報が伝わってこないから」
- ・連合と労働組合に期待すること 1位「賃金・労働条件の改善」
女性では「パート・有期・派遣契約で働く人の処遇改善」「社会保障の改革」が高い傾向、
10代では「職場の働き方改革サポート」が1位
- ・「今後、労働組合に加入したい・加入し続けたい」35.4%、20代男性では51.0%

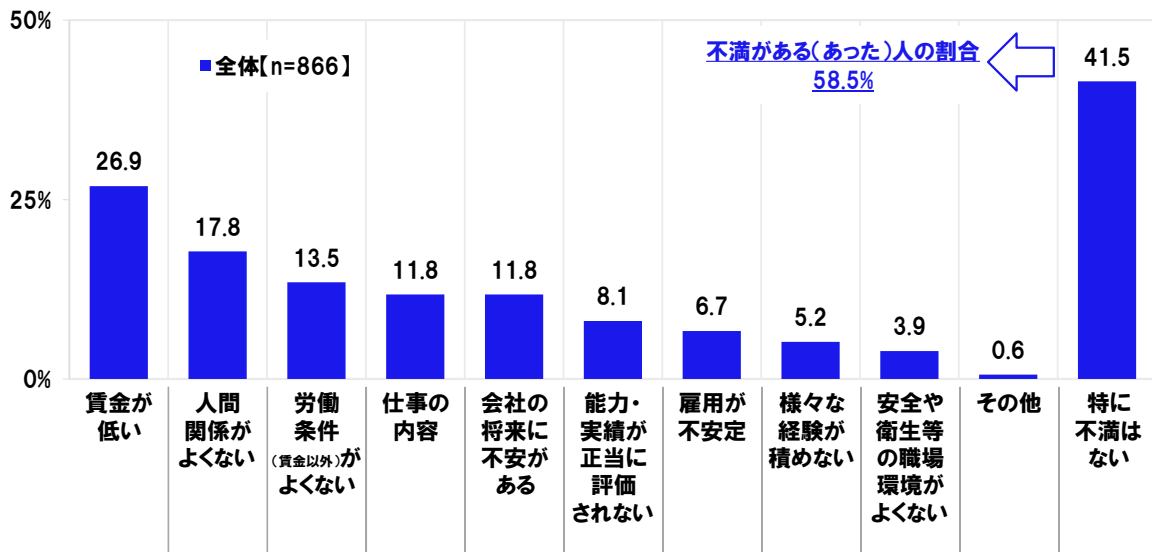
調査結果

《仕事に対する不満について》

◆有職者の59.2%が「仕事・職場に不満がある」と回答、不満の内容 1位「賃金が低い」

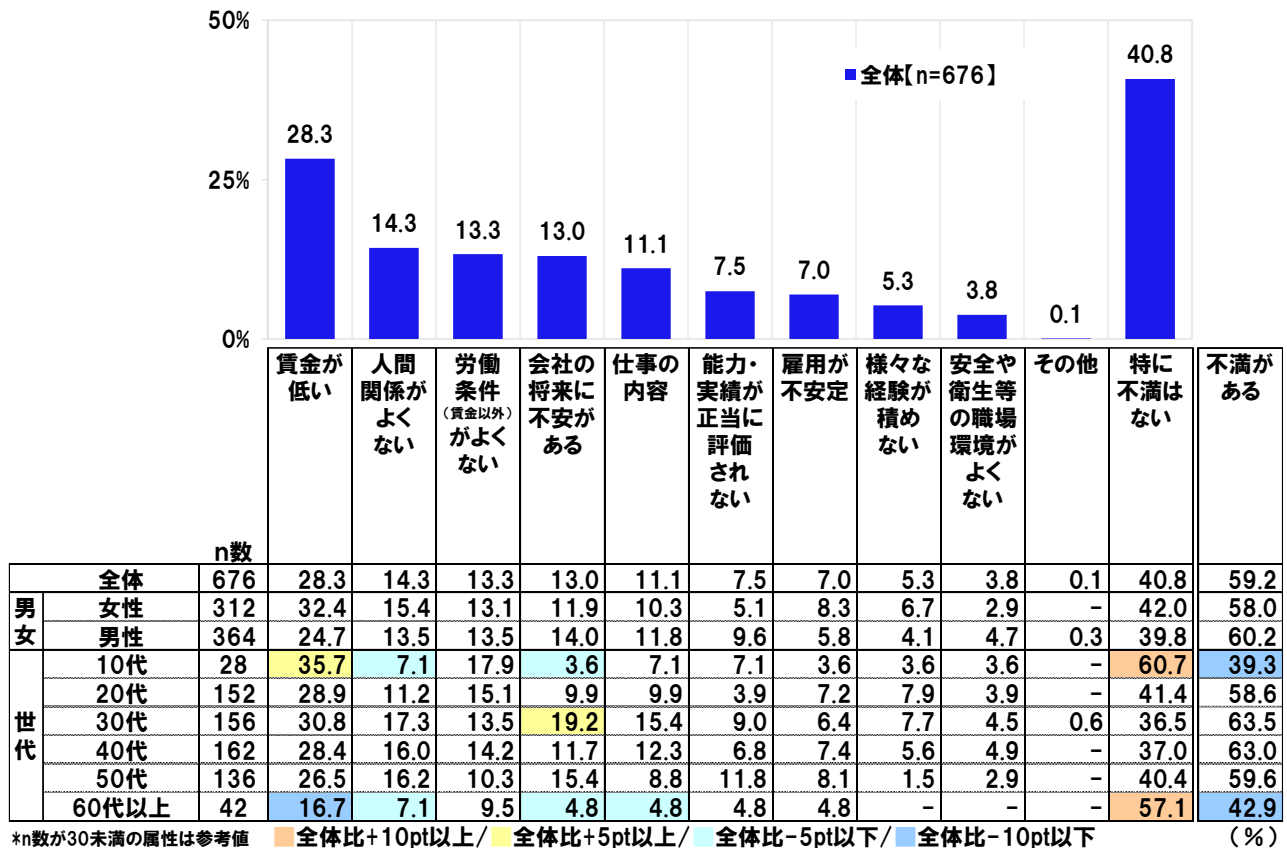
はじめに、就業経験のある人（現在働いている人、または過去に働いていた人）866名に、仕事・職場に対する不満について聞いたところ、「賃金が低い」（26.9%）が最も高くなり、「人間関係がよくない」（17.8%）、「労働条件（賃金以外）がよくない」（13.5%）、「仕事の内容」「会社の将来に不安がある」（いずれも 11.8%）が続き、不満がある（あった）人の全体の割合は 58.5%となりました。

仕事・職場に対する不満 [複数回答形式]
対象：現在働いている人、または過去に働いていた人



現在働いている人(676名)についてみると、「賃金が低い」(28.3%)が最も高くなり、「人間関係がよくない」(14.3%)、「労働条件(賃金以外)がよくない」(13.3%)、「会社の将来に不安がある」(13.0%)、「仕事の内容」(11.1%)が続き、不満がある人の割合は59.2%でした。

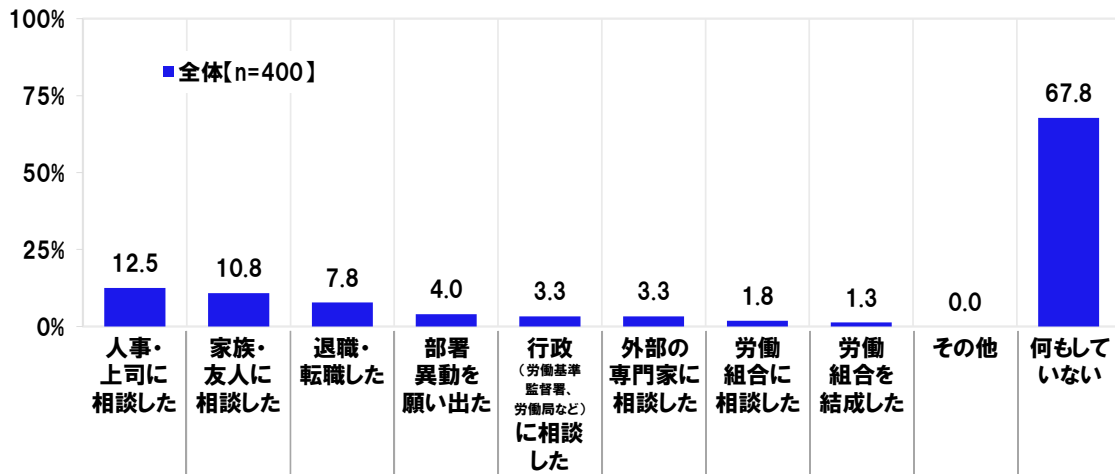
世代別にみると、30代では「会社の将来に不安がある」(19.2%)が全体と比べて5ポイント以上高くなりました。また、不満がある人の割合が最も高くなったのは30代(63.5%)で、40代(63.0%)、50代(59.6%)が続きました。

仕事・職場に対する不満〔複数回答形式〕 対象:現在働いている人


- ◆**仕事・職場の不満解消のための行動** 1位「人事・上司に相談」、「労働組合に相談」はわずか1.8%
 不満を感じている人の67.8%が「何もしていない」
- ◆**仕事・職場の不満解消のために行動していない理由**
 1位「不満の解消は諦めている」2位「解消までの労力を割きたくない」3位「解消する手段を知らない」

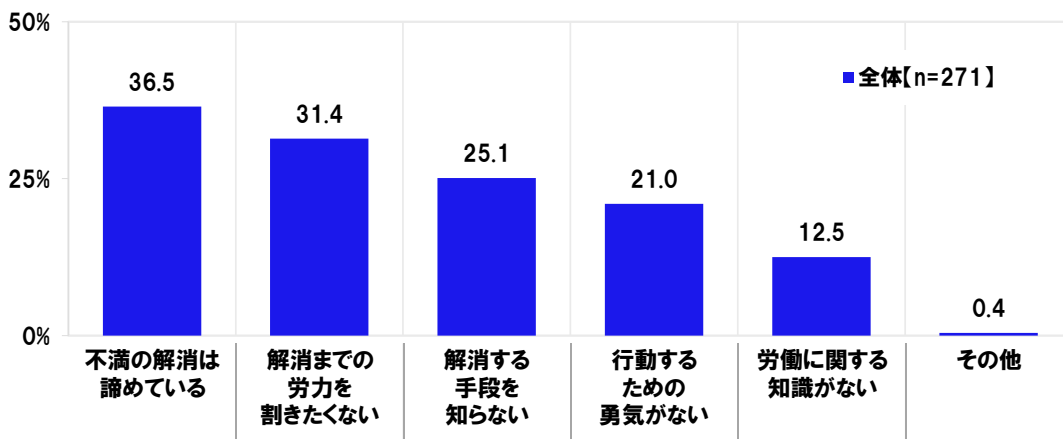
現在働いている人で、仕事・職場に対する不満がある人(400名)に、仕事・職場の不満を解消するためにどのような行動をしたか聞いたところ、「人事・上司に相談した」は12.5%、「家族・友人に相談した」は10.8%、「退職・転職した」は7.8%、「部署異動を願い出た」は4.0%、「行政(労働基準監督署、労働局など)に相談した」と「外部の専門家に相談した」は3.3%、「労働組合に相談した」は1.8%と、いずれも低い割合にとどまりました。他方、「何もしていない」は67.8%となり、不満を感じている人の大多数は特に行動せず不満を抱えたままのようです。

仕事・職場の不満を解消するためにどのような行動をしたか [複数回答形式]
 対象:現在働いている人で、仕事・職場に対する不満がある人



現在働いている人で、仕事・職場の不満を解消するために行動していない人(271名)に、行動していない理由を聞いたところ、「不満の解消は諦めている」(36.5%)が最も高くなりました。何か行動を取ったとしても、状況が改善するわけではないと期待を持ってない人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「解消までの労力を割きたくない」(31.4%)、「解消する手段を知らない」(25.1%)でした。

仕事・職場の不満を解消するために行動していない理由 [複数回答形式]
 対象:現在働いている人で、仕事・職場の不満を解消するために行動していない人



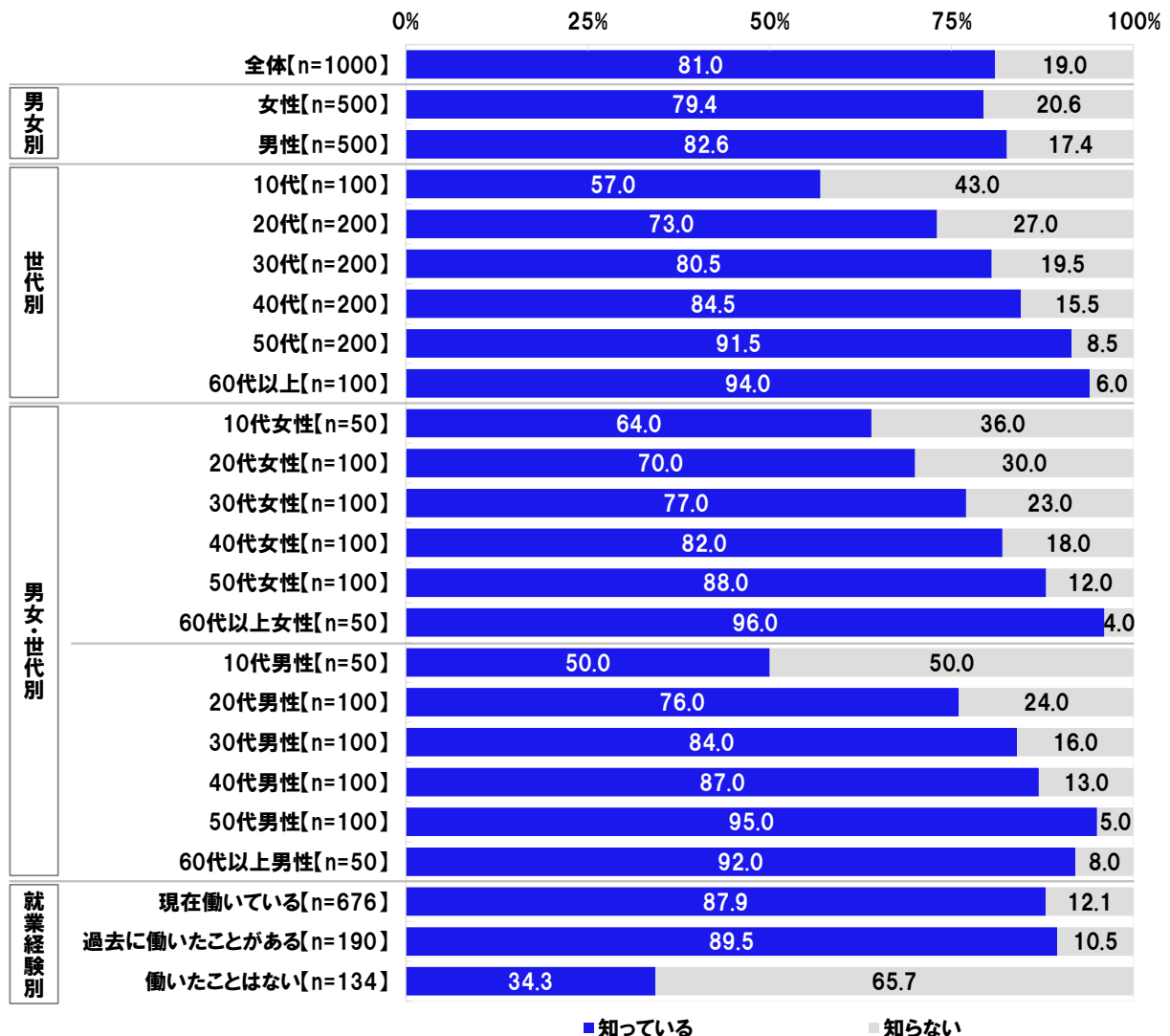
《労働組合について》
◆「労働組合を知っている」81.0%、10代では57.0%にとどまる

全国の15歳以上の男女1,000名(全回答者)に、『“労働組合”は、働く人が主体となって、賃金や働く環境を向上させるために、経営者などに対して法律上対等な立場で交渉ができる団体である』と説明したうえで、労働組合を知っているか聞いたところ、「知っている」は81.0%、「知らない」は19.0%となりました。

男女別にみると、認知率(「知っている」と回答した人の割合)は、男性では82.6%と、女性(79.4%)と比べて3.2ポイント高くなりました。

世代別にみると、認知率は若年層ほど低くなる傾向がみられ、最も低い10代では57.0%でした。他方、50代(91.5%)と60代以上(94.0%)では9割を超えました。

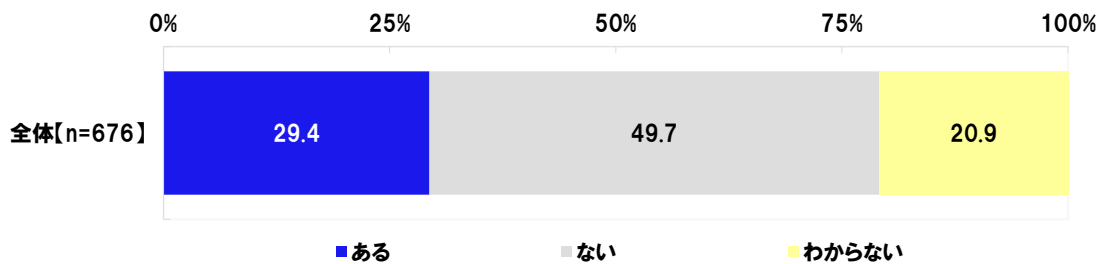
就業経験別にみると、認知率は現在働いている人では87.9%、過去に働いたことがある人では89.5%と、働いたことがない人(34.3%)と比べて50ポイント以上高くなりました。

労働組合を知っているか [単一回答形式]


- ◆勤務先の労働組合の有無 「労働組合がある」29.4%、「労働組合はない」49.7%、「わからない」20.9%
- ◆勤務先での労働組合加入状況 「加入している」20.9%、「加入していない」56.8%、「わからない」22.3%

現在働いている人(676名)に、勤務先に労働組合があるか聞いたところ、「ある」は29.4%、「ない」は49.7%、「わからない」は20.9%となりました。

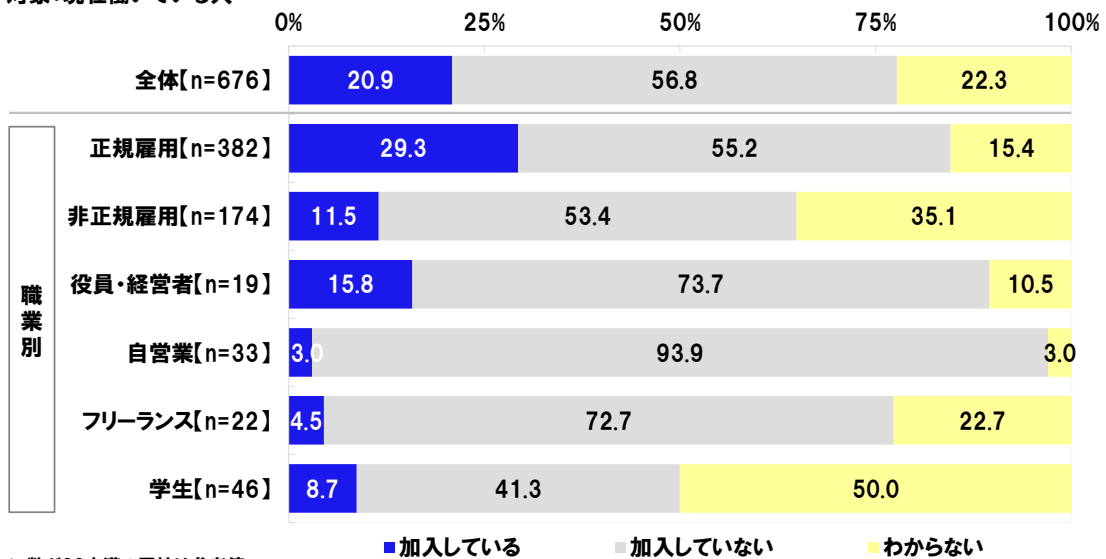
勤務先に労働組合があるか [単一回答形式]
対象:現在働いている人



また、勤務先で労働組合に加入しているか聞いたところ、「加入している」は20.9%、「加入していない」は56.8%、「わからない」は22.3%となりました。

職業別にみると、「加入している」と回答した人の割合は、正規雇用で働いている人では29.3%、非正規雇用で働いている人では11.5%と、雇用形態により大きな違いがみられました。

勤務先で労働組合に加入しているか [単一回答形式]
対象:現在働いている人



*n数が30未満の属性は参考値

《連合について》
◆連合の認知率は46.9%、30代では41.0%にとどまる

全回答者(1,000名)に、『日本労働組合総連合会(通称:連合)は、日本最大の労働組合の中央組織(会長:芳野友子、加盟組合員:約700万人)である』と説明したうえで、連合を知っているか聞いたところ、「どのような組織か知っている」は13.7%、「名前を聞いたことがある」は33.2%となり、合計した『知っている(計)』は46.9%、「知らない」は53.1%となりました。

男女別にみると、認知率(『知っている(計)』の割合)は男性では53.0%と、女性(40.8%)と比べて12.2ポイント高くなりました。

世代別にみると、認知率は40代以下(10代46.0%、20代42.5%、30代41.0%、40代44.0%)では半数を下回りました。

日本労働組合総連合会(通称:連合)を知っているか [単一回答形式]

		0%	25%	50%	75%	100%	知っている(計)	
							今回調査	前回調査
全体[n=1000]		13.7	33.2		53.1		46.9	52.3
男女別	女性[n=500]	9.6	31.2		59.2		40.8	46.0
	男性[n=500]	17.8	35.2		47.0		53.0	58.5
世代別	10代[n=100]	13.0	33.0		54.0		46.0	43.5
	20代[n=200]	13.5	29.0		57.5		42.5	55.0
	30代[n=200]	9.5	31.5		59.0		41.0	50.7
	40代[n=200]	9.5	34.5		56.0		44.0	49.8
	50代[n=200]	15.0	36.0		49.0		51.0	52.8
	60代以上[n=100]	29.0	37.0		34.0		66.0	62.5
男女世代別	10代女性[n=50]	8.0	34.0		58.0		42.0	42.0
	20代女性[n=100]	11.0	25.0		64.0		36.0	47.5
	30代女性[n=100]	3.0	30.0		67.0		33.0	46.5
	40代女性[n=100]	6.0	35.0		59.0		41.0	40.5
	50代女性[n=100]	11.0	33.0		56.0		44.0	48.0
	60代以上女性[n=50]	26.0	32.0		42.0		58.0	53.0
	10代男性[n=50]	18.0	32.0		50.0		50.0	45.0
	20代男性[n=100]	16.0	33.0		51.0		49.0	62.5
	30代男性[n=100]	16.0	33.0		51.0		49.0	55.0
	40代男性[n=100]	13.0	34.0		53.0		47.0	59.0
	50代男性[n=100]	19.0	39.0		42.0		58.0	57.5
	60代以上男性[n=50]	32.0	42.0		26.0		74.0	72.0
就業経験別	現在働いている[n=676]	15.1	35.1		49.9		50.1	54.6
	過去に働いたことがある[n=190]	12.6	34.7		52.6		47.4	52.2
	働いたことはない[n=134]	8.2	21.6		70.1		29.9	33.9

■ どのような組織か知っている ■ 名前を聞いたことがある ■ 知らない

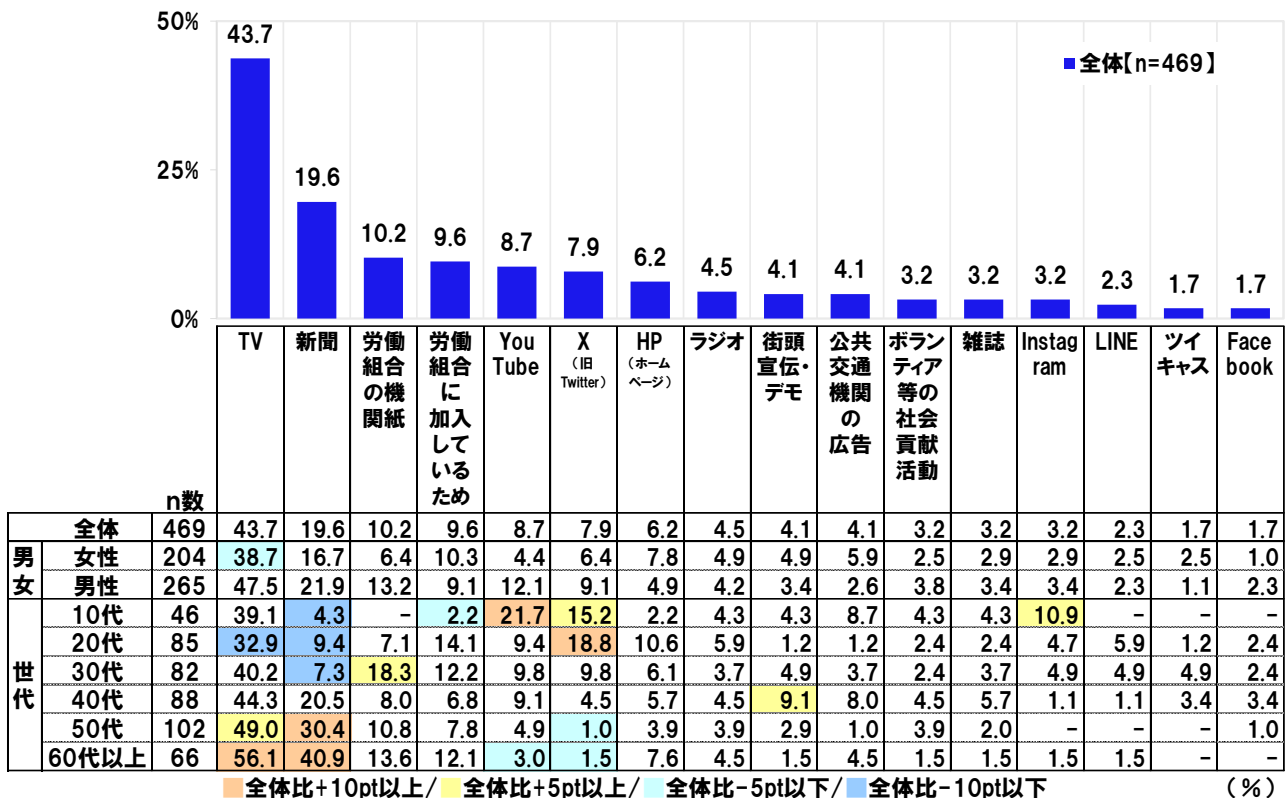
※前回調査:『連合および労働組合のイメージ調査 2025』(2025年3月6日発表)

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/info/chousa/data/20250306-2.pdf?6431>

◆連合を何で知った？ 1位「TV」2位「新聞」
10代では「YouTube」「X」「Instagram」、20代では「X」が上位に

連合を知っている人(469名)に、連合を何で知ったか聞いたところ、「TV」(43.7%)が突出して高くなり、「新聞」(19.6%)、「労働組合の機関紙」(10.2%)、「労働組合に加入しているため」(9.6%)、「YouTube」(8.7%)が続きました。

世代別にみると、10代では2位「YouTube」(21.7%)、3位「X(旧 Twitter)」(15.2%)、4位「Instagram」(10.9%)、20代では2位「X(旧 Twitter)」(18.8%)と、若年層では連合についてSNSで見聞きするケースが多いことがわかりました。

日本労働組合総連合会(通称:連合)を何で知ったか [複数回答形式] ※上位15位までを表示
対象:連合を知っている人


◆**連合の取り組みとして知っているもの 1位「春闘の実施」**
20代では「労働組合づくり支援・労働相談の実施」が1位

連合を知っている人(469名)に、連合の取り組みとして知っているものを聞いたところ、「春闘(春季生活闘争)の実施」(28.8%)が最も高くなり、「労働組合づくり支援・労働相談の実施」(19.2%)、「政治・選挙活動」(17.1%)、「政府・政党などへの政策・制度要請」(15.8%)、「労働政策に関する政府審議会への参画」(13.9%)が続きました。

男女別にみると、「春闘(春季生活闘争)の実施」(女性23.0%、男性33.2%)は男女間で10ポイント以上の差が開きました。

世代別にみると、20代では「労働組合づくり支援・労働相談の実施」(20.0%)が1位でした。

日本労働組合総連合会(通称:連合)の取り組みとして知っているもの [複数回答形式]
 対象:連合を知っている人

*1位はオレンジ塗り

	0%		25%		50%		女性	男性	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
							(n=204)	(n=265)	(n=46)	(n=85)	(n=82)	(n=88)	(n=102)	(n=66)
春闘(春季生活闘争)の実施	28.8		3.8		23.0	33.2	15.2	9.4	28.0	34.1	39.2	40.9		
労働組合づくり支援・労働相談の実施	19.2		-1.1		20.6	18.1	8.7	20.0	11.0	23.9	20.6	27.3		
政治・選挙活動	17.1		1.2		15.2	18.5	6.5	8.2	13.4	21.6	16.7	34.8		
政府・政党などへの政策・制度要請	15.8		-0.1		11.3	19.2	8.7	8.2	17.1	22.7	13.7	22.7		
労働政策に関する政府審議会への参画	13.9		0.1		12.7	14.7	13.0	11.8	9.8	19.3	11.8	18.2		
非正規雇用の問題解決に向けた取り組み	12.6		-2.5		10.3	14.3	8.7	11.8	12.2	18.2	11.8	10.6		
労働組合の国際的連携の推進	11.1		0.2		12.7	9.8	10.9	10.6	14.6	9.1	9.8	12.1		
社会保障・税制・教育制度に関する取り組み	9.4		-4.5		11.3	7.9	2.2	9.4	7.3	11.4	8.8	15.2		
フリーランスの法的保護に向けた取り組み	8.3		-1.6		8.8	7.9	8.7	8.2	4.9	9.1	9.8	9.1		
ジェンダー平等・多様性の推進	7.9		-2.5		6.4	9.1	10.9	7.1	2.4	8.0	9.8	10.6		
環境問題の解決に向けた取り組み	6.4		-1.1		6.4	6.4	2.2	8.2	4.9	5.7	6.9	9.1		
災害支援・ボランティア活動、社会貢献活動	6.2		-2.1		5.4	6.8	2.2	8.2	8.5	3.4	1.0	15.2		
平和運動・核兵器廃絶への取り組み	4.7		-2.4		3.4	5.7	-	4.7	7.3	5.7	1.0	9.1		
大学等への出前授業の実施	4.7		-0.4		3.9	5.3	4.3	3.5	7.3	6.8	2.9	3.0		
その他	0.2		0.1		-	0.4	-	-	-	1.1	-	-		
全くわからない	29.9		1.4		33.3	27.2	32.6	32.9	36.6	22.7	30.4	24.2		

■全体[n=469]

*前回調査比
(pts)

◆連合について持っているイメージ 1位「影響力のある」2位「保守的な」3位「堅実な」

連合を知っている人(469名)に、連合についてどのようなイメージを持っているか聞いたところ、「影響力のある」(20.5%)が最も高くなり、「保守的な」(15.6%)、「堅実な」(13.9%)、「真面目な」(13.4%)、「頼れる」(10.7%)が続きました。

世代別にみると、20代では「影響力のある」「保守的な」「真面目な」(いずれも14.1%)、30代では「堅実な」(20.7%)が1位となりました。

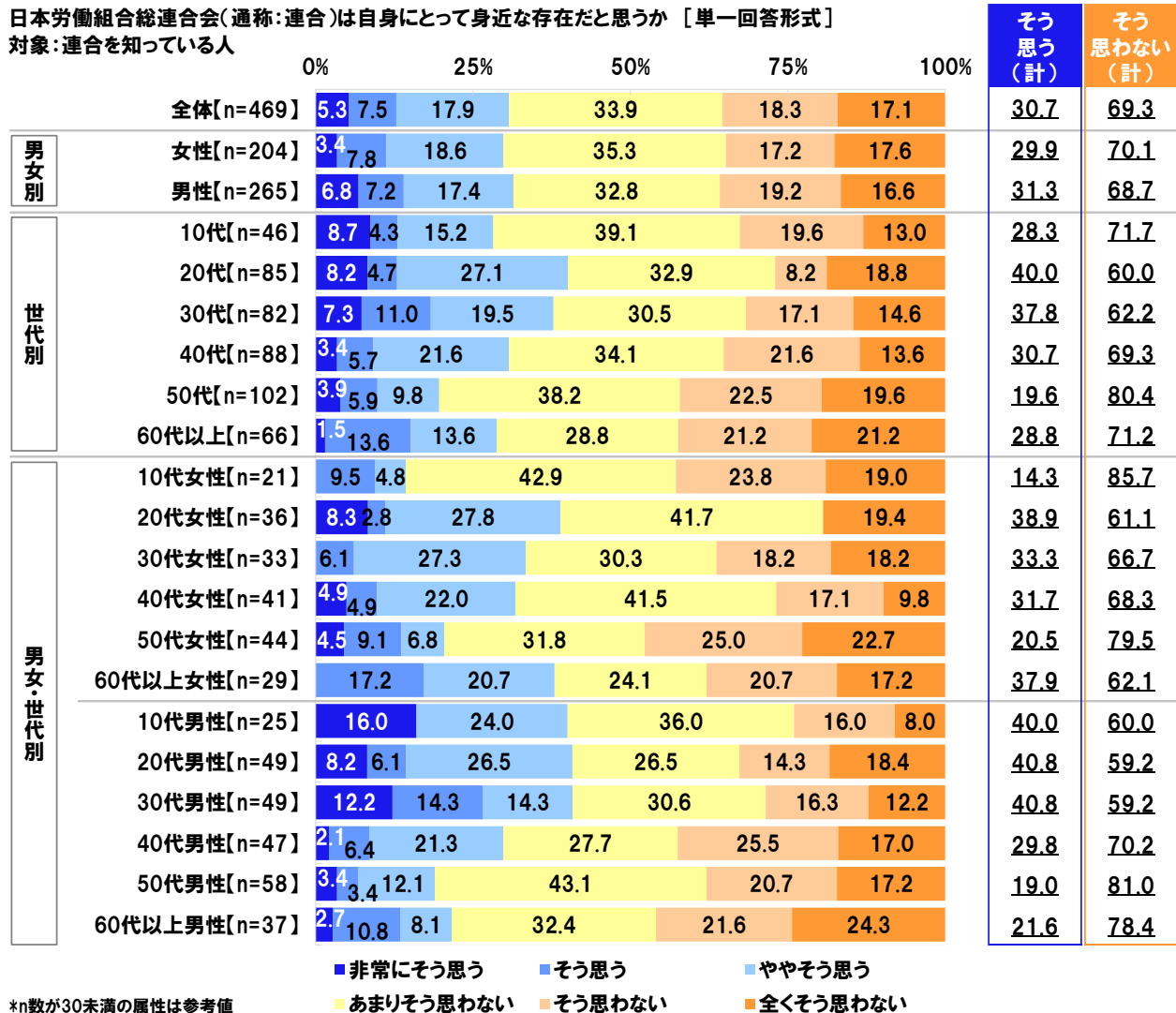


◆「連合は自身にとって身近な存在だと思う」 連合認知者の30.7%、20代では40.0%

連合を知っている人(469名)に、連合は自身にとって身近な存在だと思うか聞いたところ、「非常にそう思う」が5.3%、「そう思う」が7.5%、「ややそう思う」が17.9%で、合計した『そう思う(計)』は30.7%、「全くそう思わない」が17.1%、「そう思わない」が18.3%、「あまりそう思わない」が33.9%で、合計した『そう思わない(計)』は69.3%となりました。

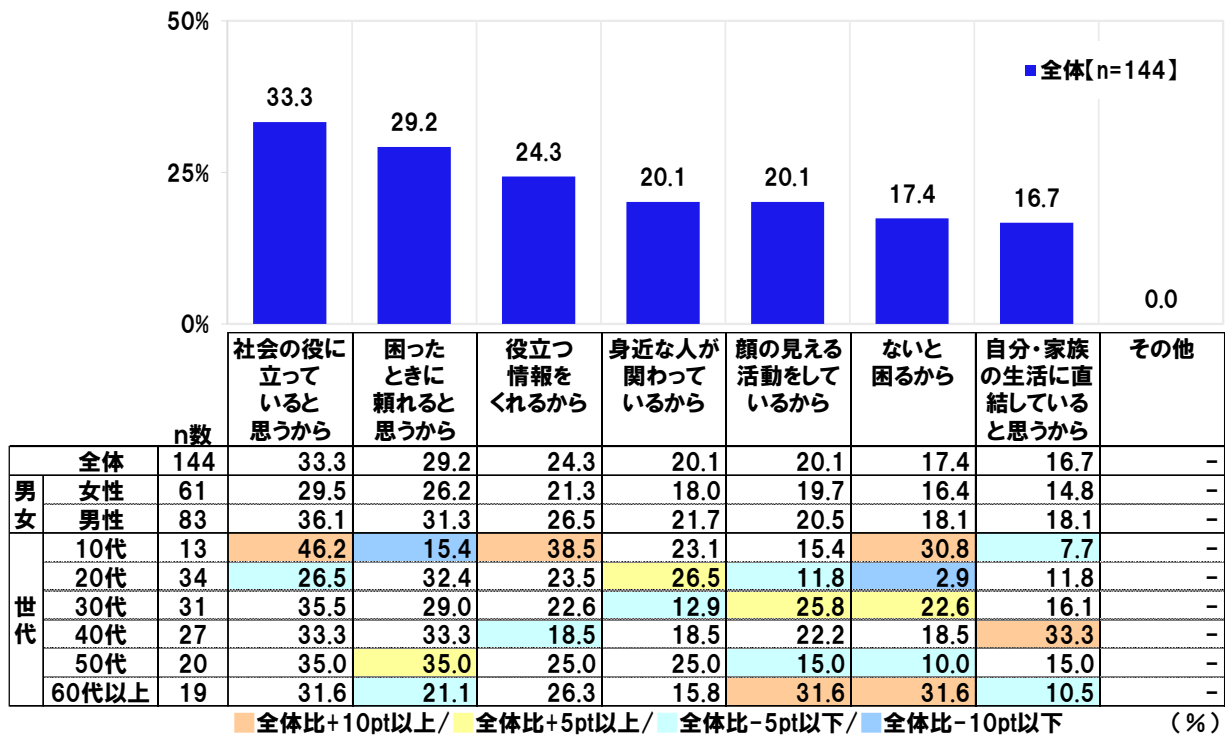
世代別にみると、『そう思う(計)』と回答した人の割合が最も高くなったのは20代(40.0%)、最も低くなったのは50代(19.6%)でした。

日本労働組合総連合会(通称:連合)は自身にとって身近な存在だと思うか [単一回答形式]
対象:連合を知っている人



◆連合が身近な存在だと思う理由
1位「社会の役に立っていると思う」2位「困ったときに頼れると思う」3位「役立つ情報をくれる」
◆連合が身近な存在だと思わない理由 1位「身近に関わっている人がいない」
2位「どのような人が関わっているのか見えない」3位「自分・家族の生活とは関係ないと思う」

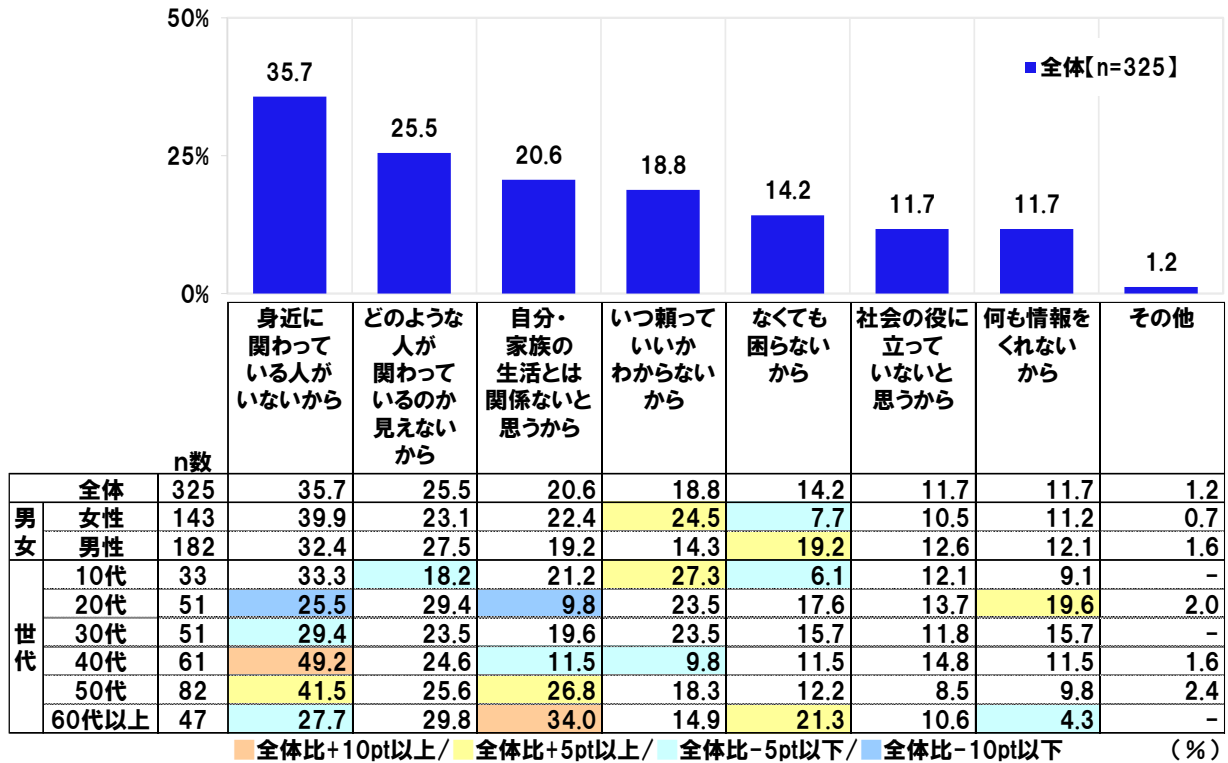
連合が身近な存在だと思う人(144名)に、その理由を聞いたところ、「社会の役に立っていると思うから」(33.3%)が最も高くなりました。連合の活動が社会に対し様々なかたちで良い影響を与えていると感じている人が多いようです。次いで高くなったのは、「困ったときに頼れると思うから」(29.2%)、「役立つ情報をくれるから」(24.3%)、「身近な人が関わっているから」「顔の見える活動をしているから」(いずれも20.1%)でした。

日本労働組合総連合会(通称:連合)が自身にとって身近な存在だと思う理由 [複数回答形式]
対象:連合が身近な存在だと思う人


*n数が30未満の属性は参考値

他方、連合が身近な存在だと思わない人(325名)に、その理由を聞いたところ、「身近に関わっている人がいないから」(35.7%)が最も高くなり、「どのような人が関わっているのか見えないから」(25.5%)、「自分・家族の生活とは関係ないと思うから」(20.6%)、「いつ頼っていいかわからないから」(18.8%)、「なくても困らないから」(14.2%)が続きました。

世代別にみると、20代では「どのような人が関わっているのか見えないから」(29.4%)、60代以上では「自分・家族の生活とは関係ないと思うから」(34.0%)が1位でした。

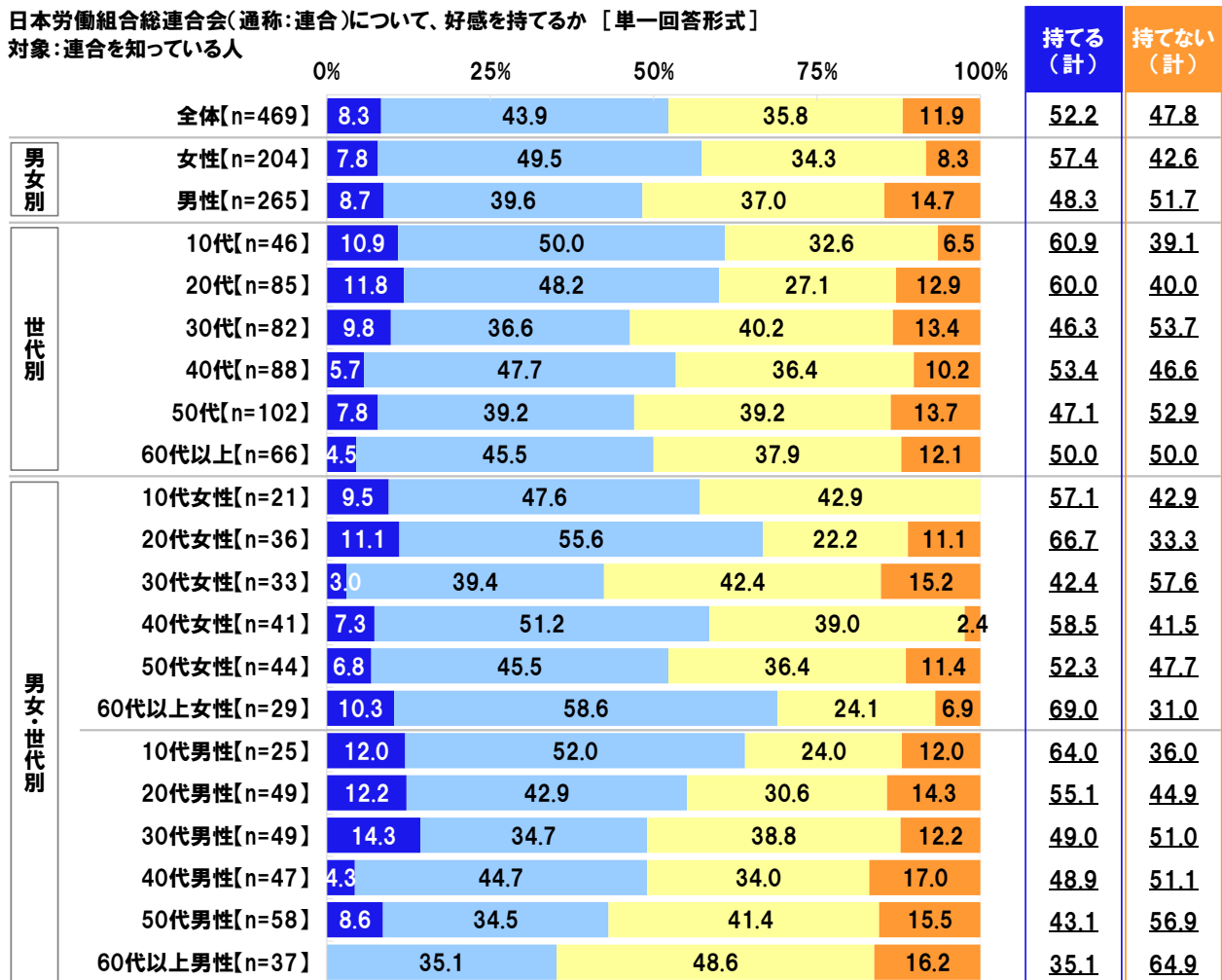
日本労働組合総連合会(通称:連合)が自身にとって身近な存在だと思わない理由 [複数回答形式]
対象:連合が身近な存在だと思わない人


◆「連合について好感を持てる」連合認知者の52.2%、10代では60.9%

連合を知っている人(469名)に、連合について、好感を持てるか聞いたところ、「持てる」が8.3%、「どちらかといえば持てる」が43.9%で、合計した『持てる(計)』は52.2%、「持てない」が11.9%、「どちらかといえば持てない」が35.8%で、合計した『持てない(計)』は47.8%となりました。

男女別にみると、『持てる(計)』と回答した人の割合は、女性57.4%、男性48.3%と、女性のほうが9.1ポイント高くなりました。

世代別にみると、『持てる(計)』と回答した人の割合は若年層で高くなる傾向がみられ、10代では60.9%、20代では60.0%でした。

日本労働組合総連合会(通称:連合)について、好感を持てるか [単一回答形式]
対象:連合を知っている人


■持てる
■どちらかといえば持てる
■どちらかといえば持てない
■持てない

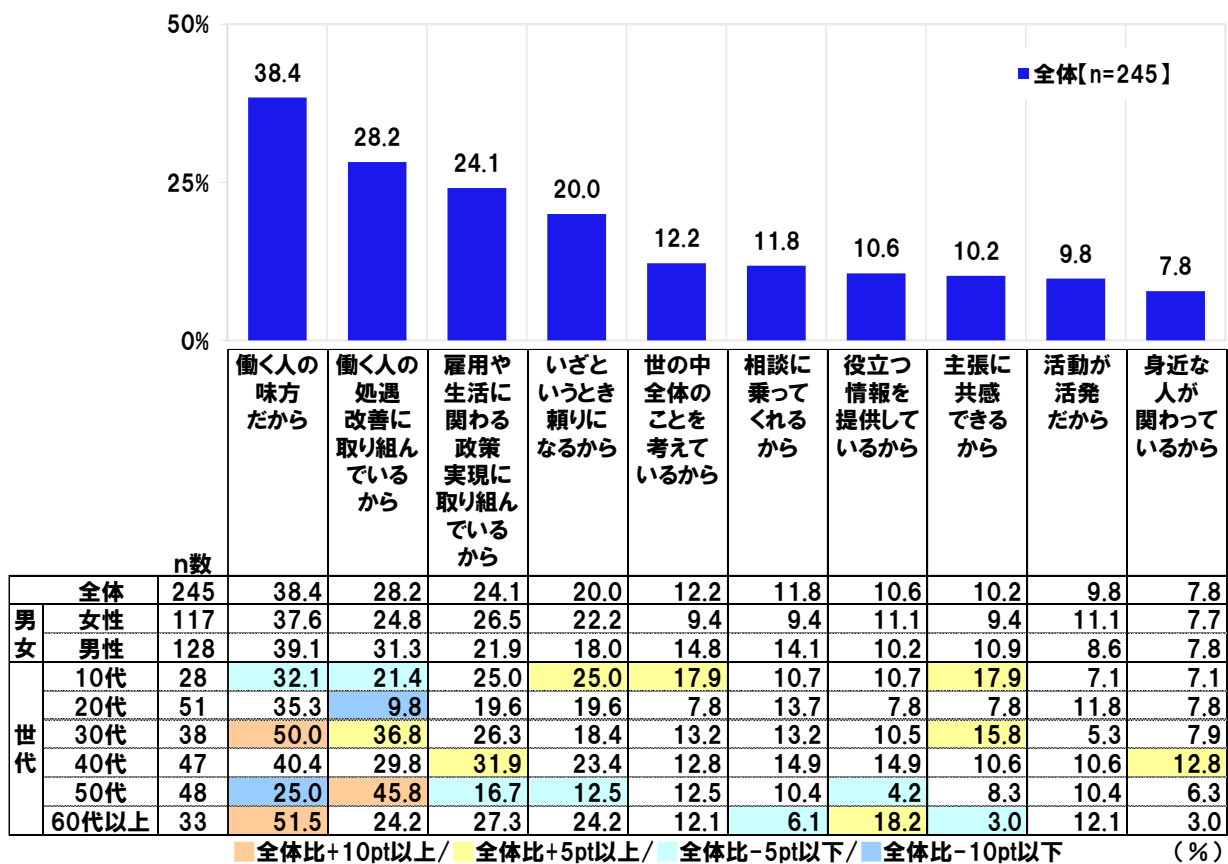
*n数が30未満の属性は参考値

- ◆**連合に好感を持てる理由 1位「働く人の味方だから」2位「働く人の処遇改善に取り組んでいるから」**
 ◆**連合に好感を持ってない理由 1位「政治の活動ばかり目立つから」**
2位「身近に関わっている人がいないから」「情報が伝わってこないから」

連合に好感を持てる人(245名)に、その理由を聞いたところ、「働く人の味方だから」(38.4%)が最も高くなり、「働く人の処遇改善に取り組んでいるから」(28.2%)、「雇用や生活に関わる政策実現に取り組んでいるから」(24.1%)、「いざというとき頼りになるから」(20.0%)、「世の中全体のことを考えているから」(12.2%)が続きました。

世代別にみると、50代では「働く人の処遇改善に取り組んでいるから」(45.8%)が1位でした。

日本労働組合総連合会(通称:連合)に好感を持てる理由【複数回答形式】※上位10位までを表示
 対象:連合に好感を持てる人



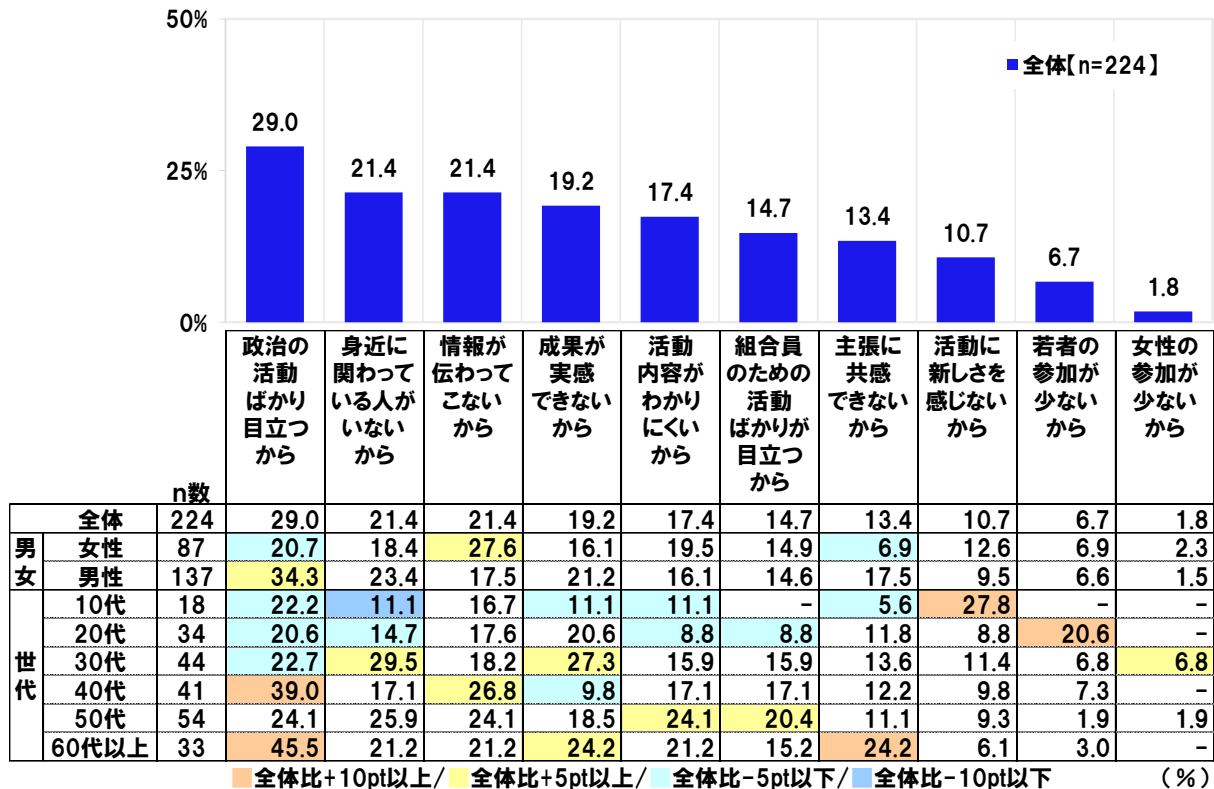
*n数が30未満の属性は参考値

他方、連合に好感を持ってない人(224名)に、その理由を聞いたところ、「政治の活動ばかり目立つから」(29.0%)が最も高くなり、「身近に関わっている人がいないから」「情報が伝わってこないから」(いずれも21.4%)、「成果が実感できないから」(19.2%)、「活動内容がわかりにくいから」(17.4%)が続きました。

男女別にみると、女性では「情報が伝わってこないから」(27.6%)、男性では「政治の活動ばかり目立つから」(34.3%)が1位でした。

世代別にみると、20代では「政治の活動ばかり目立つから」「成果が実感できないから」「若者の参加が少ないから」(いずれも20.6%)、30代と50代では「身近に関わっている人がいないから」(30代29.5%、50代25.9%)が1位でした。

日本労働組合総連合会(通称:連合)に好感を持ってない理由 [複数回答形式] ※上位10位までを表示
 対象:連合に好感を持ってない人



*n数が30未満の属性は参考値

◆連合と労働組合に期待すること 1位「賃金・労働条件の改善」

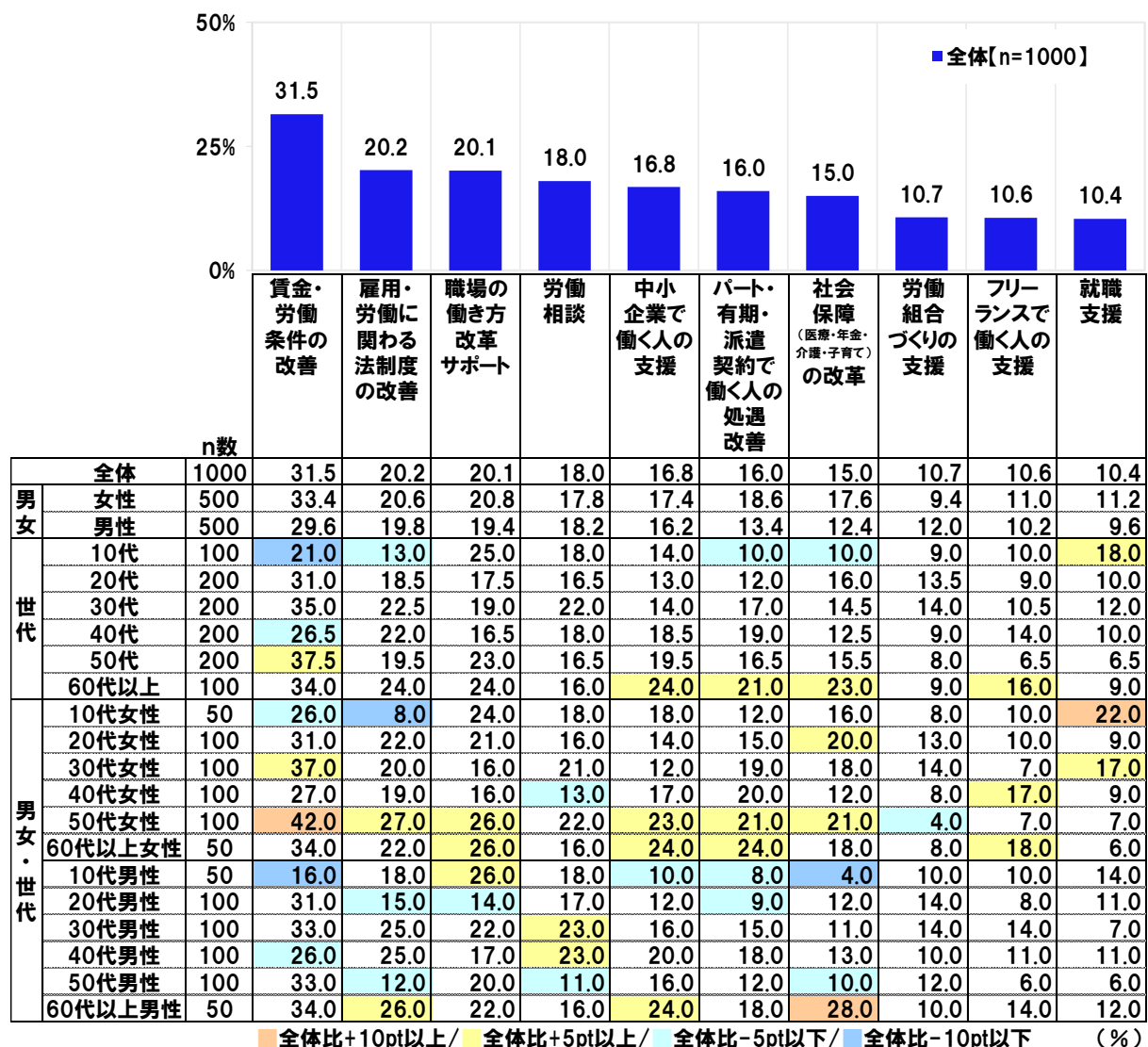
**女性では「パート・有期・派遣契約で働く人の処遇改善」「社会保障の改革」が高い傾向、
10代では「職場の働き方改革サポート」が1位**

全回答者(1,000名)に、連合および労働組合に期待することを聞いたところ、「賃金・労働条件の改善」(31.5%)が最も高くなり、「雇用・労働に関わる法制度の改善」(20.2%)、「職場の働き方改革サポート」(20.1%)、「労働相談」(18.0%)、「中小企業で働く人の支援」(16.8%)が続きました。

男女別にみると、「パート・有期・派遣契約で働く人の処遇改善」(女性18.6%、男性13.4%)と「社会保障(医療・年金・介護・子育て)の改革」(女性17.6%、男性12.4%)は男性と比べて女性のほうが5ポイント以上高くなりました。

世代別にみると、10代では「職場の働き方改革サポート」(25.0%)が1位でした。

日本労働組合総連合会(通称:連合)および労働組合に期待すること [複数回答形式] ※上位10位までを表示



◆「今後、労働組合に加入したい・加入し続けたい」35.4%、20代男性では51.0%

最後に、全回答者(1,000名)に、今後、労働組合に加入したい、または加入し続けたいと思うか聞いたところ、「是非加入したい、または是非加入し続けたい」が5.5%、「加入したい、または加入し続けたい」が29.9%で、加入に前向きな人の割合は35.4%、「加入したくない、または加入し続けたいと思わない」は35.1%、「まったく加入したくない、または退会したい」は29.5%となりました。

世代別にみると、加入に前向きな人の割合が最も高くなったのは20代(45.0%)、最も低くなったのは60代以上(28.0%)でした。

男女・世代別にみると、加入に前向きな人の割合は20代男性(51.0%)では半数を超えました。

勤務先で労働組合に加入している人(181名)についてみると、「是非加入したい、または是非加入し続けたい」は20.4%、「加入したい、または加入し続けたい」は45.9%となり、加入に前向きな人の割合は66.3%となりました。他方、勤務先で労働組合に加入していない人(490名)についてみると、加入に前向きな人の割合は27.5%となりました。

今後、労働組合に加入したい、または加入し続けたいと思うか [単一回答形式]

		0%	25%	50%	75%	100%	前向き
全体[n=1000]		5.5	29.9	35.1	29.5		35.4
男女別	女性[n=500]	5.2	30.2	37.0	27.6		35.4
	男性[n=500]	5.8	29.6	33.2	31.4		35.4
世代別	10代[n=100]	4.0	29.0	33.0	34.0		33.0
	20代[n=200]	7.0	38.0	25.5	29.5		45.0
	30代[n=200]	6.0	27.5	37.0	29.5		33.5
	40代[n=200]	4.5	31.0	34.0	30.5		35.5
	50代[n=200]	6.0	26.5	43.5	24.0		32.5
	60代以上[n=100]	4.0	24.0	38.0	34.0		28.0
男女・世代別	10代女性[n=50]	2.0	26.0	40.0	32.0		28.0
	20代女性[n=100]	7.0	32.0	31.0	30.0		39.0
	30代女性[n=100]	2.0	29.0	38.0	31.0		31.0
	40代女性[n=100]	5.0	32.0	34.0	29.0		37.0
	50代女性[n=100]	7.0	32.0	42.0	19.0		39.0
	60代以上女性[n=50]	8.0	26.0	40.0	26.0		34.0
	10代男性[n=50]	6.0	32.0	26.0	36.0		38.0
	20代男性[n=100]	7.0	44.0	20.0	29.0		51.0
	30代男性[n=100]	10.0	26.0	36.0	28.0		36.0
	40代男性[n=100]	4.0	30.0	34.0	32.0		34.0
	50代男性[n=100]	5.0	21.0	45.0	29.0		26.0
	60代以上男性[n=50]	22.0	36.0	42.0	22.0		22.0
労働組合加入	している[n=181]	20.4	45.9	23.2	10.5		66.3
	していない[n=490]	2.4	25.1	40.8	31.6		27.5
	わからない[n=195]	2.1	31.8	37.4	28.7		33.9

■是非加入したい、または是非加入し続けたい ■加入したい、または加入し続けたい
 ■加入したくない、または加入し続けたいと思わない ■まったく加入したくない、または退会したい

注:本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合や、全ての内訳を合計しても100%とならない場合があります。

■■調査概要■■

- ◆調査タイトル : 連合および労働組合のイメージ調査 2026
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする
全国の15歳以上の男女
- ◆調査期間 : 2026年1月9日～1月13日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル

	15歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 以上	計
女性	50s	50s	50s	50s	50s	50s	50s	50s	50s	50s	500s
男性	50s	50s	50s	50s	50s	50s	50s	50s	50s	50s	500s

- ◆実施機関 : ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、「連合調べ」と付記のうえご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

連合(日本労働組合総連合会)

総合運動推進局 運動企画局 担当:岡本
 TEL : 03-5295-0538
 Eメール : jtuc-undou-kikaku@sv.rengo-net.or.jp

総合企画局 企画・広報局 担当:千葉
 TEL : 03-5295-0510
 Eメール : jtuc-kikaku@sv.rengo-net.or.jp

受付時間 : 10時00分～17時30分(月～金)

■■連合(日本労働組合総連合会) 概要■■

組織名 : 連合(日本労働組合総連合会)
 代表者名 : 会長 芳野 友子
 発足 : 1989年11月
 所在地 : 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 連合会館
 活動内容 : すべての働く人たちのために、希望と安心の社会をつくる